

平成26年度 技術委員会の事業報告

1. 概要

1.1 技能検定委員会との情報交換

技能検定委員会と技術委員会の役割分担を明確にした結果、技術委員会では、技能検定対応講習会を密度の高い講習内容にすべく、講師会等で講習内容を検討してきた。

各支部で開催した講習会から提起された問題点・課題、および技能検定委員会から提起された課題・問題点等の情報を共有し協議した。

1.2 技能検定試験対応講習会

技術委員会はこれまで一貫して、ばね技能者向けの人材育成事業を軸に諸活動を実施してきており、その中心となるのは、金属ばね製造技能士の育成強化である。

技能検定委員会との協議内容を盛り込む等の改善を行いながら、技能検定試験の合格支援教育を実施しており、成果も上がっている。平成26年度技能検定試験は全国で573名が受検し、299名の技能士が誕生し、昭和60年の制定以来の技能士累計取得者は5518名となった。

1.3 優良ばね製造技能者表彰

平成26年度の技能検定試験合格発表後に会員各社から合計18社59名が推薦を受け、平成27年5月13日の第17回理事会に上程された。

本年度は「プラチナ賞6名以上、金賞15名以上、銀賞30名以上」の目標を掲げ活動を推進し、いずれも目標を達成できた。表彰は第4回社員総会後に行われる。

	プラチナ賞	金賞	銀賞	合計
東部支部	1社2名	2社3名	2社15名	3社20名
中部支部	3社4名	3社7名	3社4名	6社15名
西部支部	4社4名	7社7名	5社13名	9社24名
合計	8社10名	12社17名	10社32名	18社59名

1.4 ばね技術講習会

ばね設計技術の向上のため、ばね技術講習会を各支部で実施している。

支部ごとにそれぞれのニーズも考慮したテーマを設定して取り組み、ばねの基礎技術、中級設計技術、熱処理、品質管理などの講習会を開催した。

1.5 日本ばね学会への委託テーマ

(1) 圧縮コイルばねの疲労限度線図の改訂調査研究

平成26年11月6日から京都にて報告され、平成27年版ばね論文集に掲載予定。今年度で完了。

(2) 圧縮コイルばねの温間へたりに関する研究

平成26年度からの新規テーマとして委託している。

2. 委員会等の開催

会議	日時・開催場所	議案等
第1回委員会	平成26年11月14日 東京（丸の内オアゾ）	1. 委員の確認・新委員の挨拶 2. 技能検定委員会報告および各支部活動状況報告 3. 「ばねハンドブック」改訂に関する審議 および改訂ワーキンググループメンバーの選定
学会・工業会 技術連絡会	平成27年1月29日 東京（工業会会議室）	1. 前回議事録確認 2. 学会・委員会活動報告 3. 工業会・技術委員会活動報告 4. 工業会・技能検定委員会活動報告 5. 研究・委託テーマ進捗状況